

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成29年4月

福井県知事 西川 一誠
総務部長 山田 賢一

29年度の施策

1 人口減少に歯止めをかける徹底戦略

◇進学・就職の地元志向にインセンティブ【部局連携】

○大学生をもっと県内に

- ・大学連携センター「Fスクエア」において行われる、県内大学が連携した地域志向科目の共通開講などについて、大学の自主的な運営により行われるよう支援します。
- ・県内大学との協定に基づき、効果の検証に努めながら、高大連携事業の実施、地元受入れ枠の拡大等を進めることにより、県内進学・就職増を図ります。
- ・合同就職面接会を労働局とともに集中的に開催し、福井のものづくり企業の魅力や暮らしやすさをPRします。また、大学連携センターにジョブカフェの学生への就職支援機能を移し、早期の就職意識付けと県内企業への就職を促進します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県内大学生の 地元就職率	48.0%	49.1%	52.0%	55.0%

2 福井から人材育成

◇地元大学の役割を拡充

○県立大学の充実と地元貢献

- ・地域の資源を活かした授業など、現場から学ぶフィールドワークや県内企業人等を講師に招く地域志向科目を充実します。
- ・海外留学を促進するため、海外交流協定校との連携や学生への情報提供の強化など、留学しやすい環境づくりを進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県立大学生の 海外留学数	106人/年	96人/年	120人/年	130人/年

- ・国の「トビタテ！留学JAPAN」制度を活用し、地元の協力企業と連携して実践型海外留学制度を創設し、地元企業に関心の高い学生を海外に派遣します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
「トビタテ！留学J APAN」制度活用 留学生数	—	—	15人/年	20人/年

- ・聴講生および科目等履修生の受講料等の負担軽減を図ることにより、県民の学び直しを支援します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
聴講生および 科目等履修生の数	24人/年	19人/年	80人/年	100人/年

3 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略

◇「恐竜渓谷100万人構想」の実現【部局連携】

○恐竜学研究の世界拠点へ

- ・中国など国内外の研究機関等との連携により、恐竜学研究所において新たな共同研究や恐竜学分野の人材育成を進めます。

4 幸福実感、誇りを生み出す「ふるさと政策」

◇市町と共働の「新ふるさと」づくり【部局連携】

○市町振興プロジェクト

- ・今年度で完了する「ふるさと創造プロジェクト」を着実に推進し、市町の地域資源を活用した地域づくりを支援します。

○地方創生・人口減少対策の強化

- ・『新ふるさと創造』推進事業により市町独自の拠点整備やブランド発信を支援し、高速交通開通アクション・プログラムや周遊・滞在型観光推進計画に位置付けた施策や活動と連動させ、県と市町が一体となったふるさとづくりを進めます。**交流拡大施策**

○集落対策の推進

- ・県内の集落の現状と課題を把握し、地域のつながり力の強化とにぎわい創出を目的とする「福井ふるさと茶屋」の整備を進めるほか、集落機能の維持を図るための施策を検討します。

5 行財政構造改革

◇質の高い政策をめざす県政

○職員の学ぶ場の拡大

- ・職員が職種、職場を越えて、自由なテーマで大いに勉強し、議論するグループを支援し、学びの場を広げます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
自主研究 グループ数	—	22 グループ /年	25 グループ /年	25 グループ /年

- ・職員が、先輩職員（メンター）から、これまでの経験や知識を学び、仕事の進め方の改善につなげます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
メンターからアド バイスを受けた職 員数	—	—	60 人/年	90 人/年

○職員の実践的な語学力向上

- ・若手職員を対象に英語の「チャレンジ語学研修」を行い、職員の英語力を高め、県の情報の海外発信などに活用します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
TOEIC 600 点以上	171 人	191 人	210 人	230 人
730 点以上 (累計)	82 人	89 人	95 人	100 人

○職員の超過勤務の縮減

- ・超過勤務の現状を定期的に把握し、業務の見直しや平準化を一層進め、超過勤務を縮減します。

(平成 24～28 年度平均 年間 170 時間)

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
職員 1 人あたり 年間超過勤務時間	162 時間	164 時間	160 時間	160 時間

○**県税など歳入確保と歳出合理化を進め、健全財政を堅持**

- ・ 県内市町と協力して個人住民税の特別徴収の拡大を図るとともに、福井県地方税滞納整理機構による滞納整理を進め、県税の収入確保に努めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県税収入率（現滞計）年度末見込み	98.2%	97.9% (目標達成見込)	98.1%	98.1%

- ・ 行財政改革実行プランに基づく歳入の確保、歳出の合理化・重点化を進め、健全な財政運営を堅持します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
財政調整基金等の残高	204億円	180億円	135億円	145億円
県債残高（臨時財政対策債を除く）	5,078億円	4,962億円	4,900億円	4,800億円
実質赤字比率	黒字	黒字	黒字	黒字
連結実質赤字比率	黒字	黒字	黒字	黒字
実質公債費比率	15.3%	14.5%	18%未満	18%未満
将来負担比率	171.1%	163.4%	170%未満	170%未満

○**SNS等を活用した国内外への情報発信【部局連携】**

- ・ SNSや動画作成の専任職員が福井の魅力を分かりやすく国内外へ発信します。また、国外向けとして、これまでの英語圏に加え、県上海事務所と共働して中国にも発信していきます。

○**県有財産の計画的な管理【部局連携】**

- ・ 延床面積1,000㎡以上の177施設について、建物性能や利用状況の実態把握および長寿命化を図るための長期保全計画（修繕計画）の策定を行います。
- ・ 県有地の売却・利活用にあたっては、まちづくりや景観等への影響に配慮しながら、他部局と連携し適切に進めていきます。

◇県民に「よくわかる県政」の実現

○広報・広聴の密度を高める

- ・県政の動きを即時に伝えるフェイスブック「ほやほや！ふくい」登録者の一層の拡大を図り、より多くの県民に広報します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
「ほやほや！ふくい」登録件数(累計)	1,068件	2,125件	2,625件	3,000件

- ・地域や職場等に職員が出向き、県民の方々に県施策を直接説明する「よくわかる県政出前トーク」を開催し、施策への理解を深めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
「よくわかる県政出前トーク」開催件数(累計)	146件	520件	900件	1,280件

◇行財政構造改革による財源の確保

○150億円の「政策推進枠予算」を確保

- ・事務事業の見直しや歳出の合理化等により、政策推進枠予算の財源を確保します。

目標名	27年度予算 (実績)	28年度予算 (実績)	29年度予算 (実績)	30年度予算 (目標)
政策推進枠予算の財源確保(累計)	41億円	78億円	114億円	150億円